

緊急時通報先

事故や故障の際は、安全な場所に避難してから
下記にご一報ください。(通話料無料)
110番・非常電話・道路緊急ダイヤル(#9910)

高速道路情報案内

快適な高速道路のご利用を24時間係員がサポートいたします。高速道路をご利用の際、通行料金やETC割引、経路など高速道路情報の確認にご活用ください。

NEXCO東日本お客さまセンター

 0570-024-024
または 03-5338-7524

NEXCO中日本お客さまセンター

 0120-922-229
PHS・IP電話のお客さま 052-223-0333

NEXCO西日本お客さまセンター

 0120-924-863
PHS・IP電話のお客さま 06-6876-9031

日本道路交通情報センター

道路交通情報がインターネットで見られます。

<http://www.jartic.or.jp/>

最新の道路情報についてお問い合わせを受け付けています。

- 全国・関東情報…050-3369-6600
- 北海道高速情報…050-3369-6760
- 東北高速情報…050-3369-6761
- 東北・常磐・関越高速情報…050-3369-6762
- 東名・新東名高速情報…050-3369-6763
- 中央・長野高速情報…050-3369-6764
- 新潟地方高速情報…050-3369-6765
- 東海地方高速情報…050-3369-6766
- 北陸道・東海北陸道情報…050-3369-6767
- 近畿地方高速情報…050-3369-6768
- 中国地方高速情報…050-3369-6769
- 四国地方高速情報…050-3369-6770
- 九州地方高速情報…050-3369-6771
- 沖縄情報…050-3369-6647

- 全国共通ダイヤル…050-3369-6666
- 携帯短縮ダイヤル…#8011

※最寄りのセンターに接続します。(通話料お客さま負担)

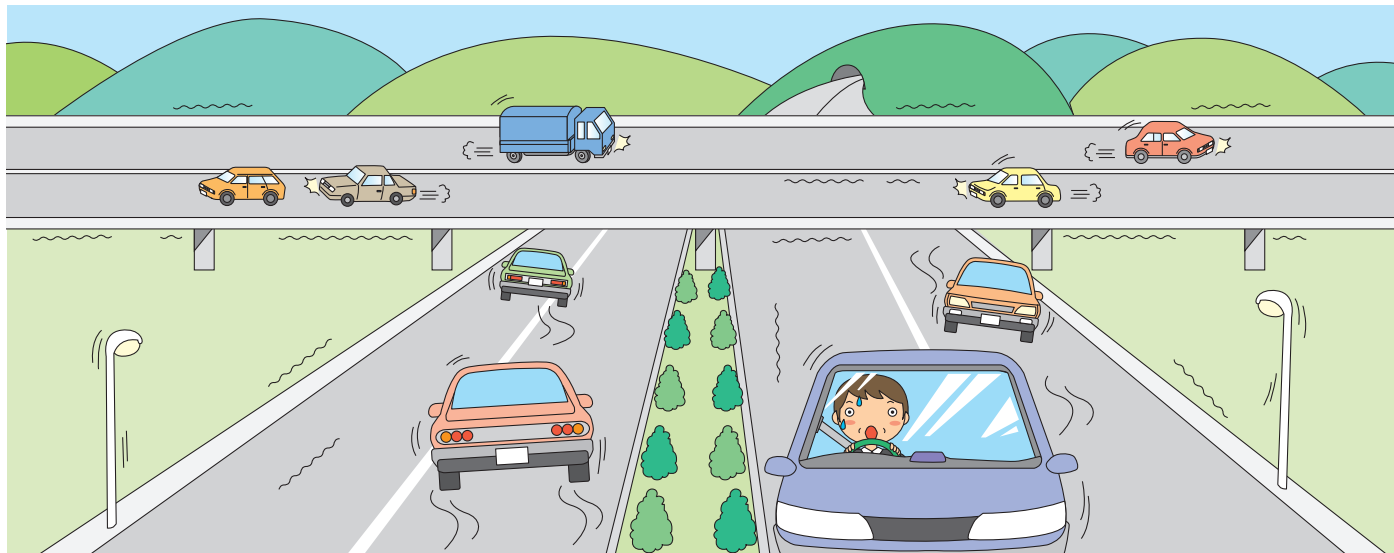
地震に備えて
いざという時のドライバー心得



高速道路と地震

日本は世界有数の地震国です。
高速道路を走行中に大地震が発生する可能性
もあります。

地震発生時の適切な対応や、日ごろからの備
えは、自分の身を守るとともに地震による二次
災害を防ぐことにもなります。基本的な運転マ
ナーと対策を今一度考え直してみましょう。



走行中、地震を感じたら…

- 決して急ブレーキをかけないで下さい。ゆっくりと減速し、あわてずに左側路肩に停車して、エンジンを止めましょう。
- 長大のり面の下、トンネルの出入り口付近では、震度によっては、崩落の危険がありますので、極力、その場所をさけて停車しましょう。
- 休憩施設で強い地震に遭遇したら、係員の避難誘導に従いましょう。

【参考】地震発生時の高速道路

- 高速道路では計測震度4.5（震度5弱に相当します）以上で通行止めを行い、道路の点検を行います。
- 大地震の場合、本線車道は、緊急車両が通行することになります。



路肩等に停止したら

- 路肩等に車両を停止させる際には、余震などへの予防措置のため、前後の車両との間隔を空けるようにしてください。
- エンジンを停止後、後続車両による追突事故の防止のため、**ハザードランプ**を点灯するとともに、安全を十分確認のうえ**停止表示板**を設置してください。
- 他の通行車両にはねられないために、車内や路肩には残らず、ガードレールの外側など、避難できる場所かどうか十分に確認のうえ、安全な場所にすみやかに避難しましょう。
- デマや流言に惑わされないよう、警察や高速道路会社からの指示・案内、またはラジオやカーテレビによる公共機関からの情報に従い慎重に行動してください。（特に沿岸部においては、津波が来る可能性がありますので、津波の高さや到達時間等について確認してください。）
- 情報収集の手段については、P.10以降にも記載しています。

新潟地震では、「もっと大きいのがくる」というデマに、人々はパニックに似た心理状態になりました。関東大震災では、放火だというデマで恐ろしい暴動に似た状態になりました。現代社会でも、地震の怖さ変わりなく、地震時の人心の不安は大きいものです。一部の人のデマに惑わされず、ラジオ等公共の情報を信頼し、慎重な行動をとるようにしましょう。



★ 注意 ★

緊急地震速報を受信した際には、以下の点に注意して落ち着いた行動をお願いします。

「緊急地震速報」とは？

緊急地震速報は地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推測し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、可能な限り早く知らせる情報です。

- あわてずに、**ハザードランプ**を点灯して周囲の車両に注意喚起のうえ、急ブレーキをかけずに、緩やかに速度を落としてください。
- 大きな揺れを感じたら、周囲の状況を確認のうえ、急ハンドルや急ブレーキを避けて出来るだけ安全な速度や方法により左側の路肩や非常駐車帯等に停車してください。

やむを得ず車を離れるときは

以下のことにご留意ください。

- エンジンを停止させ、窓ガラスをしっかりと閉めましょう。
- ドアはロックせず、エンジンキーを車内に残しておきましょう（キーレスエントリーキーも同様）。
※救助活動や事故処理に支障をきたす場合、車両を移動する場合があります。
- 可能であれば車内に連絡先を記したメモを残しておきましょう。
- 貴重品等は、車内に残さないようにしましょう。
- 他の通行車両による事故防止のため、車内や路肩には残らず、ガードレールの外側など、避難できる場所かどうか十分に確認のうえ、安全な場所にすみやかに避難しましょう。

《災害状況等に関する情報提供について》

災害状況や交通状況に関する情報については、道路情報板やハイウェイラジオ、高速道路会社各社のHP、また警察や高速道路会社のパトロールカーに搭載のスピーカー、休憩施設の拡声放送等によって提供されます。（情報収集のための各種ツールについては後掲の内容をご参照ください。）

（参考）

災害対策基本法により、緊急の必要性がある場合、指定された区間で道路管理者によって車両の移動の命令もしくは車両の移動を行うことがあります。

車両火災が発生したら

- 身の安全確保を最優先のうえ、周りの通行車両等に十分注意しながら、可能な範囲で初期消火に努めましょう。渋滞中の場合等には他の車両をまき込む可能性があります。
- 万が一の車両火災の発生に備え、車両への消火器の設置を心がけてください。（危険物積載車両には、法令により消火器の設置が義務付けられています。）

非常電話について

- 車両火災・道路の異状・交通事故などを発見したときは、**1km**（トンネル内は**200m**）おきに設置されている**非常電話**で連絡して下さい。（受話器をあげるだけで道路管制センターにつながります）
- 非常電話は、一般家庭等との通話は出来ません。
- 地震発生直後などは、連絡が集中し非常電話が通じない場合があります。非常電話が通じない場合は、**110番**や**道路緊急ダイヤル（#9910）**をご活用頂くか、インターチェンジ近くの場合は料金所までご連絡をお願いします。



いざという時のための備え

- (1) 水（500mlタイプのペットボトルを複数積んでおくと、持ち運びもしやすく便利です）
- (2) 食料（缶切り不要の缶詰めや乾パンなど、調理なしで食べられるもの）
- (3) 灯火類
- (4) 携帯ラジオ
（車がこわれて、カーラジオが聞けないことがあります）
- (5) 応急医薬品
- (6) 毛布 (7) ロープ (8) 消火器
- (9) 車からの緊急脱出用ハンマー

南海トラフ地震防災対策推進地域

南海トラフ地震が発生した場合、震度6弱以上が予想される地域、および津波高3m以上が予想され、海岸堤防が低い地域（関東・東海・近畿・中国・四国・九州地方の29都府県にわたる707の市町村（平成26年3月28日時点））が「南海トラフ地震防災対策推進地域」として指定されています。

この地域における高速道路等は図に示す通りです。

南海トラフ地震防災対策推進地域の指定

凡例

- 南海トラフ地震防災対策推進地域
- 高速道路等



首都直下地震緊急対策区域

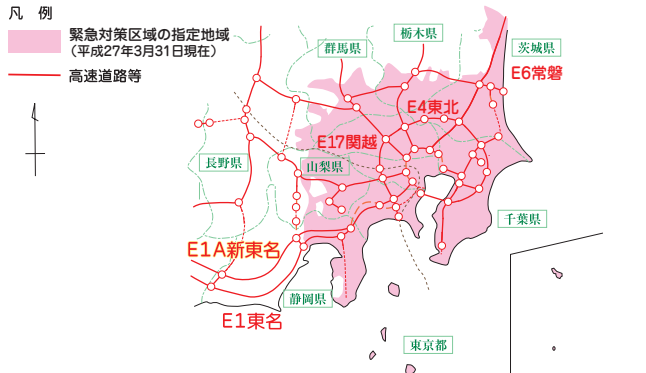
首都直下地震が発生した場合、震度6弱以上が予想される地域、および津波高3m以上が予想され、海外堤防が低い地域（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県）の1都9県にわたる309の市区町村（平成27年3月31日時点）が「首都直下地震緊急対策区域」として指定されています。

この地域における高速道路等は図に示す通りです。

首都直下地震緊急対策区域の指定

凡例

- 緊急対策区域の指定地域（平成27年3月31日現在）
- 高速道路等



未曾有の大地震 -東日本大震災-

●東日本大震災の概要●

2011年3月11日14時46分、三陸沖を震源としたマグニチュード9.0の地震が発生しました。発生時点において日本周辺における観測史上最大の地震でした。震源は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500キロメートル、東西約200キロメートルのおよそ10万平方キロメートル。最大震度は宮城県栗原市で観測された震度7で、宮城・栃木・福島・茨城の4県36市町村と仙台市内の1区で震度6強を観測しました。この地震により、場所によっては波高10メートル以上、最大遡上高40.1メートルにも上る巨大な津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害が発生しました。また、巨大津波以外にも、地震の揺れや液化化現象、地盤沈下、ダムの決壊などによって、北海道南岸から東北を経て東京湾を含む関東南部に至る広大な範囲で被害が発生し、各種ライフラインが寸断されました。

NEXCO東日本管内の被害状況

NEXCO東日本管内には各ICの料金所などに約200を超える地震計を設置しており、東日本大震災発生時には北関東自動車道の水戸南ICで最大計測震度6.3を記録しました。このほか、計測震度5.5以上（震度6弱に相当）の記録が、八戸自動車道の軽米ICから東関東自動車道の大栄ICまでの、過去に前例のない広い範囲で計測されました。これにより地震直後の通行止めは、管理延長の約65%におよぶ範囲の35路線、約2,300kmの区間に達し、交通の支障となる被害は20路線、870km区間におよびました。

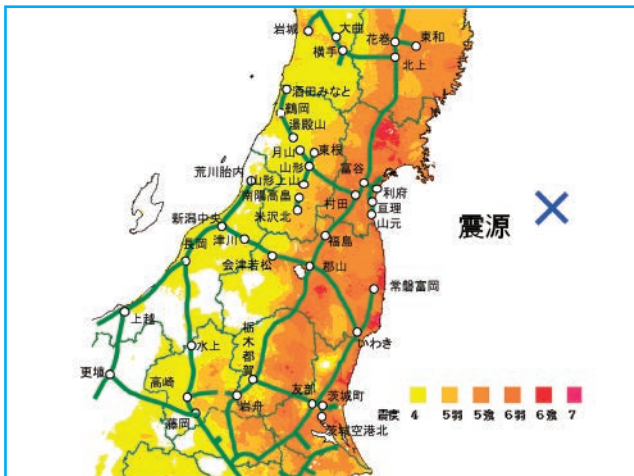


緊急交通路の確保

NEXCO東日本グループでは、地震発生直後から緊急点検を開始し、被害箇所の把握に努めました。被害により通行が不可能な箇所については、緊急車両の通行確保を最優先し、仮復旧を実施しました。震災から20時間後には、東北自動車道などの主要な路線を中心に、緊急車両の通行や物資の輸送ができるよう交通路を確保しました。



各地の地震計が計測した計測震度



お出かけ前にチェック

ハイウェイテレホン (5分ごとに最新の情報を24時間案内)

北海道

札幌…011(896)1620 旭川…0166(54)1620
室蘭…0143(59)1620 帯広…0155(42)1620

東北地区

青森…017(781)1620 盛岡…019(639)1620
秋田…018(826)1620 仙台…022(711)1620
郡山…024(961)1620 山形…023(685)1620

関東地区

東北道・東京外環道・常磐道・関越道・上信越道・長野道等

岩槻…048(758)1620 宇都宮…028(665)1620
柏…04(7171)1620 水戸…029(254)1620
大泉…03(3922)1620 所沢…04(2946)1620
前橋…027(252)1620 長野…026(278)1620

中央道・長野道

八王子…042(692)1620 甲府…055(275)1620
諏訪…0266(57)1620

千葉エリア (東関東道・館山道・東台湾アクアライン等)

千葉…043(257)1620

京浜エリア (第三京浜道路・横浜新道・横浜横須賀道路)

京浜…045(780)1620

東名・新東名高速

東京…03(5491)1620 川崎…044(866)1620
横浜…045(923)1620 御殿場…0550(82)1620
富士…0545(51)1620 静岡…054(288)1620
浜松…053(435)1620

中部地区

名古屋…052(709)1620 豊川…0533(82)1620
岐阜…058(259)1620 四日市…059(352)1620

北陸地区

敦賀…0770(21)1620 福井…0776(57)1620
金沢…076(253)1620 富山…076(476)1620
上越…025(535)1620 新潟…025(286)1620
湯沢…025(784)1620

近畿地区

大阪…06(6876)1620 京都…075(602)1620
大津…077(564)1620 神戸…078(903)1620

中国地区

広島…082(876)1620 米子…0859(37)1620
岡山…086(256)1620 浜田…0855(24)1620
山口…083(941)1620

四国地区

香川…087(851)1620 松山…089(905)1620
高知…0887(72)1620 徳島…088(641)1620

九州地区

福岡…092(942)1620 熊本…096(275)1620
宮崎…0985(86)1620 大分…097(514)1620

はい、ぶじ

携帯から「#8162」(帰る)をダイヤルすると、おかけになった場所から最も近い地域のハイウェイテレホンにつながります。

(沖縄を除く)

携帯・スマートフォンからでも交通情報

全国の高速道路の交通情報や料金検索ができます。

NEXCO東日本

ドラトラ ドライブトラフィック

<http://www.drivetraffic.jp/map.html>



NEXCO中日本

Highway

<http://c-ihighway.jp/>



NEXCO西日本

Highway

<http://ihighway.jp/>



- 情報提供は無料です。(別途/パケット通信料はおお客様のご負担となります。)
- 道路交通法により運転中の携帯電話の使用は禁止されています。ご利用は出発前や休憩施設での駐車時、もしくは同乗者の方による操作をお願いいたします。

その他

ハイウェイラジオ放送(1620kHz)、全国のSA・PAにある道路情報ターミナルでも高速道路情報をお知らせしています。

各高速道路会社の交通安全の取り組み

NEXCO東日本



HEARTFUL HIGHWAY

HEARTFUL HIGHWAYプロジェクトとは、高速道路を利用されるすべてのお客様に、知ってほしいルールや気づいてほしいマナーをお伝えることにより、お客さまとともに高速道路をもっと安全・快適な場所にしていく取り組みです。



NEXCO中日本

出張講座

NEXCO中日本

“高速道路交通安全セミナー”

NEXCO中日本「高速道路交通安全セミナー」は、「いつでもどこでも」をモットーに、安全運転のポイントをご説明する出張講座です。写真やデータを織り交ぜながら、社員がご説明します。参加人数20名程度から、会場はお申込者様でご用意ください。



NEXCO西日本



みんなでいっしょに
交通事故ゼロを目指す
プロジェクト。

「愛する人・愛してくれる人を想う気持ち」を原動力に、ドライバーの感性に訴えることで、ドライブにおける想いやりの心の輪を拡げていき、交通事故を限りなくゼロへと近づけていくことを目指す取り組みです。

